

製品・サービス動向-国内

■ヤマハ：Revolabs 社製 USB スピーカーフォンの国内発売を4月下旬より開始

(4月9日)

ヤマハ株式会社（静岡県浜松市）は、USB スピーカーフォン「FLX UC 500」を4月下旬より発売する。

FLX UC 500 は、中会議室向け高性能マイクとスピーカーを搭載し、PC を中心とした6人程度のWeb会議などでの利用に最適なUSBスピーカーフォン。

FLX UC 500 は、ヤマハが2014年3月に株式を取得し完全子会社とした、米国の通信・音響機器メーカー Revolabs 社の製品となる。



Revolabs 社製 USB スピーカーフォン FLX UC 500 (ヤマハ)

FLX UC 500 は、パワードツイーターとミッドウーファアのスピーカー2基を内蔵し、ピーク音量93dBの大音量とともに高音質な拡声環境を実現。また、一般的なマイクスピーカーよりも周波数帯域が広いので、聞き取りやすい。

また、全4基の高性能マイク（単一指向性）を本体に内蔵し、360度どこからでも広範囲の周波数の収音できるため、会話の聞き取りを格段に向上させている。話者

が本体に近づいたり、声を張り上げたりする必要はないという。

全4基の内蔵マイクそれぞれにエコーキャンセラーを搭載している。より「話しやすく」「聞きやすく」「疲れない」双方向の音声会話を実現している。

「音量調整ボタン」や「電話接続/電話切断ボタン」「ミュート」といった直感的で簡単な操作環境を提供している。Web会議などでの音量の調節や接続・切断の操作ができる。

ヤマハでは、すでに販売している、マイクスピーカー「YVC-1000」や「Projectphone シリーズ」と同様に、さまざまな会議や授業・セミナー・講義など幅広い用途での快適な遠隔コミュニケーションが可能だ。

本体の寸法は、150(W) x 123(H) x 150(D) mm。重量は1.0kg。価格は60,000円（税抜）。初年度販売計画台数は2,000台。

Revolabs社（2005年設立）は、主に米国市場を中心に会議室向けワイヤレスマイクシステムや電話会議システムの開発・製造・販売を行っている。完全子会社化にともない、日本での取り扱いを4月下旬より開始する。そして今回、最初に日本国内で発売するのがFLX UC 500となる。

■大日本印刷：100インチの大画面テレビ会議用ディスプレイシステムを提供開始

(4月9日)

大日本印刷株式会社（東京都新宿区）は、100インチの大画面テレビ会議用ディスプレイシステムの提供を開始する。

テレビ会議の多くは通常、液晶ディスプレイを使用しているが、画面サイズは 50 インチが限界であり、多地点接続を想定した使い方や大画面映像が必要なケースでは、液晶ディスプレイを多面使いすることでサイズ感を補っているという。



こういった状況に対して、同社では、100 インチと大型
(写真左：100 インチテレビ会議用ディスプレイシステム、大日本印刷)で、かつ低価格な超短焦点プロジェクター用映像表示システムの販売を開始する。

特長は以下の通り。

特長は以下の通り。

(1) 100 インチの大画面でありながら、スクリーンボード自体は厚さ 3cm、重量 30kg と同等サイズの液晶ディスプレイと比べても薄くて軽量なため、取扱いが容易。付属のブラケットやスタンドでさまざまな場所に設置することができる。

(2) 市販されている超短焦点プロジェクター全モデルに対応している。

(3) 4 分割表示にしても 1 画面が 50 インチ相当あるため、人物と資料を同時に表示することができる。

(4) 不要な外光はカットする一方で、プロジェクターの光だけを視聴者側に反射させる機能を持つスクリーンを採用している。

(5) 液晶ディスプレイを使用した場合と比べ低消費電力で運用できる。

(6) 価格は 100 インチの液晶ディスプレイシステムに比べ、半額以下を目指す。

今後、大日本印刷では、テレビ会議向けに販売を開始し、企業や商業施設、店舗などを中心に、2015 年に 15 億円の売上を目指す。また、テレビ会議システムメーカー、プロジェクトメーカー、オフィス什器メーカーなどと連携

し、簡易に購入できる販売網を構築していく計画だ。

■ジャパンメディアシステム：Web 会議システム「LiveOn」新バージョン、エコーキャンセラーの追加やキヤノン製 NW カメラの対応など 7 項目追加

(4 月 2 日)

ジャパンメディアシステム株式会社(東京都千代田区)は、Web 会議システム「LiveOn(ライブオン) Ver12.0」を 4 月 16 日より販売開始する。

今回の新バージョンでは、エコーキャンセラーの追加やキヤノン製ネットワークカメラ対応など 7 項目の機能改良を追加している。

(1) エコーキャンセラーの追加：ソフトウェアによるエコーキャンセル機能を Windows Vista 以降でも対応した。

(2) 自動整列モードの改良：自己の画面に自動整列モード起動ボタンを追加。簡単に自動整列モードを利用できるようになった。また、自動整列モードの枠内に可能な限り映像画面を大きく配置するように改良し、より見やすくなった。

(3) 議長権固定機能の追加：会議室を作成するときに、特定のユーザ ID を議長として指定することが可能になった。これにより、指定されたユーザ ID は後から入室した場合でも自動的に議長権を取得する。

(4) 資料共有機能の改良：共有している資料において、議長のマウスカーソルの位置を他の参加者にポインター表示することが可能になった。カーソル位置を表示している間は、参加者の資料共有画面は自動的に議長が表示している画面位置に移動するように改善した。

(5) キヤノン製ネットワークカメラ対応：VB-H43をはじめとするキヤノン製ネットワークカメラシリーズが利用可能になった。

(6) スケジュール機能の改良：スマートフォンやタブ

レットでもスケジュール機能を利用することが可能になった。

(7) 多人数モード会議室機能の改良：多人数モード会議室の参加者リストの表示を改善した。また、参加者の出欠確認機能を追加し、容易に出欠状況の確認が可能になった。

なお、対応している OS やブラウザ、またキヤノン製ネットワークカメラの詳細については、ジャパンメディアシステムにお問い合わせ要。

ビジネス動向-国内

■ポリコム：ポリコムジャパン代表執行役社長に三ッ森 隆司 氏を任命

(4月2日)

ポリコムジャパン株式会社（東京都新宿区）は、代表執行役社長に三ッ森 隆司 氏を4月1日付で任命したことを発表した。



代表執行役社長 三ッ森 隆司 氏（ポリコムジャパン）

三ッ森氏は、日本国内における、ポリコムの最新コラボレーション技術をより一層普及させるべく新たなビジネス戦略の構築を担う。

日本 NCR 株式会社、CA Technologies の代表取締役社長、SAP のグローバルマネージングパートナーなど、さまざまな会社において多くの要職を歴任してきた。また、日本・米国・アジアの多国籍企業における事業開発など 30 年におよぶ豊富な経験を有している。一橋大学にて経済学士号を取得している。

ポリコムのアジアパシフィック プレジデントである Geoff Thomas 氏によると、「三ッ森氏は、戦略的パートナーシップの構築や営業にわたる豊かな経験を持つため、日本におけるポリコムの発展をけん引する重要な存在になる。」と期待している。

■パイオニア VC：コーポレートロゴを策定

パイオニア VC 株式会社（東京都目黒区）は、4月1日より、新しいコーポレートロゴを策定したと発表。（4月1日）



新コーポレートロゴ（パイオニア VC）

パイオニア VC は、パイオニア株式会社の子会社（旧パイオニアソリューションズ株式会社）として設立され、2014年5月1日より株式会社ブイキューブ（東京都目黒区）とパイオニアの資本提携によりブイキューブのグループ会社となった。

パイオニア VC が提供するコラボレーションソリューションは、音声通信技術や高精細データを双方向にやりとりする技術を特長としており、設計・製造分野の企業や官公庁の顧客に高い評価を得ている。

パイオニア VC として1年の節目をむかえ、世界初のビジュアルコラボレーションベンダとして社会に大きく貢献していくという意思を明確に示すため、この度コーポレートロゴを新たに策定することとした。

コーポレートロゴのデザインについては、これまでパイオニア VC が重ねてきた堅実な歩みと未来への強い挑戦、ブイキューブグループとの統合で新たに生み出す可能性を表している。安定と信頼性を表す「くろ色」の中に、高い品質のビジュアルコラボレーションによる新しいコミュニケーションの形を提供し、社会への貢献を目指す高い志を「えんじ色」で象徴している。その上、直

線と曲線を組み合わせ、力強さと柔らかさを共存させることで、先端技術と人・社会を有機的に結び付け、さまざまな制約からの解放を表現している。

なお、商品・サービスについては、今後もパイオニアロゴとV-CUBEロゴをともに継続して使用するとしている。

ビジネス動向-海外

■ 4NB 社:日本、米国、中国、韓国の2万5,000社以上に Web 会議サービス「VideoOffice」を提供

(Business Wire 日本語:4月12日)



VideoOffice (4NB)

4NB 社 (韓国・ソウル) は、過去 15 年間にわたって Web 会議サービス「VideoOffice (ビデオオフィス)」を提供してきた。

4NB は日本、米国、中国、韓国の 2 万 5,000 社以上に VideoOffice サービスを提供している。同社によると、高品質な高解像度 Web 会議サービスを、高額な他社サービスと比べ、日本国内の最安値で提供しているため多数の企業の注目を集めているという。

VideoOffice は、ウェブコンテンツのほか、自身のローカル PC に保存している動画ファイルを共有しながら見ることができる。また、iOS/アンドロイド搭載モバイル機器から Web 会議へ参加もできる。さらに、会員登録

をして無料で試用できる「VideoOffice クラウドサービス」も提供している。

特徴としては、Polycom H/W コーデック連動、HD 品質、MP3 並みの高音質、エコー除去、ファイアーウォール、ネットワーク環境への対応、ホワイトボード機能、デスクトップ共有、ファイル共有、会議の録音・録画、デュアルモニター、マウスジェスチャー機能などを利用できる。

また、モバイル Web 会議向けに 22 種類のビデオモードに対応し、少人数グループのための 4 画面モードから、セミナーやフォーラムでもっとも頻繁に利用される 16 画面モードまで、幅広く提供している。

その他、言語については、英語・中国語・韓国語・タイ語・ベトナム語などの複数言語に対応している。

4NB 社 (2000 年設立) は、Web 会議ソリューションの開発、販売、オンラインサービスを提供している。日本語でのウェブサイトやフェイスブックページも運営している。

導入・利用動向-国内

■ ブイキューブ:文部科学省のスーパーグローバルハイスクール指定校 宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校が「V-CUBE」を採用、海外からの遠隔教育に活用

株式会社ブイキューブ (東京都目黒区) は、宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校が「V-CUBE」を採用したと発表。(4月7日)

五ヶ瀬中等教育学校は、文部科学省のスーパーグローバルハイスクール指定校。中山間地域 (農林水産省サイト参照:平野の外縁部から山間地を指す。) から国際社会で活躍できる「野性味あふれるグローバル・リーダー」の育成を目指しており、V-CUBE を、発表や意見交換などができる遠隔教育の仕組みとして採用した。

同校では、国内外の大学・企業・国際機関と連携しな

から進める中高6年間のカリキュラムの中で、バングラデッシュやイギリスで活動している有識者を講師に迎えたオンライン授業をV-CUBEで実施している。

教材を利用した講義のほか、講師への質疑応答や複数の生徒が加わる討論など、教室と同じスタイルでの授業を実現させている。V-CUBEの活用で、これまで定期的な来校が難しく実現困難だった、外部講師からの継続した授業を容易に行える環境が整った。

今回の採用の決め手は、遠隔地にいる講師が教室と同じように教材を用いた講義が行え、そこに複数名が参加して意見交換や討論ができる充実したサービスであること、また、24時間365日のカスタマーサポートにより、授業や授業準備の打ち合わせに集中できるようになり、教師側の負担がかからない点などが評価された。

>>宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校
<http://gokase-h.com/>

市場動向-国内

■シード・プランニング：2015年国内のビデオコミュニケーション市場動向レポートを発表

(3月31日)

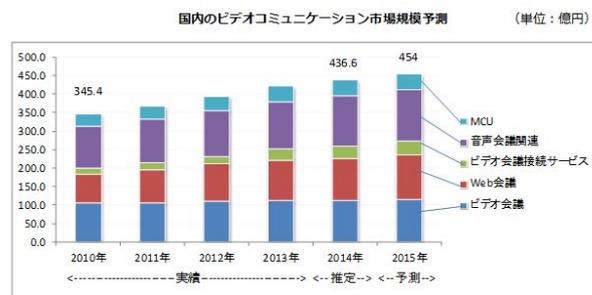
株式会社シード・プランニング(東京都文京区)は、国内のビデオコミュニケーション市場の将来展望に関する調査を実施し、このほどその結果をとりまとめた。2004年から調査を始めて、今回で12回目の調査となる。

同社によると、2010年頃からビデオ会議・Web会議・音声会議業界は大きく変化し始めていると分析する。従来のビデオ会議/Web会議、音声会議等のハード・ソフト・サービス事業者が主体から、クラウドコンピューティング、スマートフォン、タブレット、ソリューションサービスなど新規事業者が目立つからだ。また、キャリア、ソリューション、モバイル機器とのコラボレ

ションも注目されるという。

調査結果のポイントは、以下の通り。

(1) 国内市場規模：国内のビデオ会議・Web会議・音声会議等のビデオコミュニケーション市場(端末・サービス、MCUを含む)は、2015年に454億円(2014年比104%)と予測する。

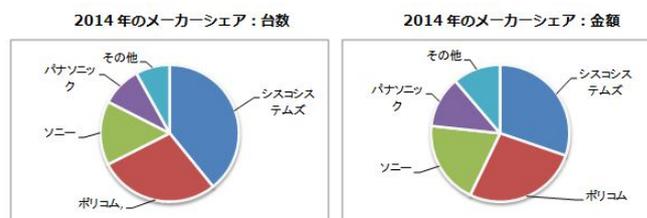


(シード・プランニング作成)

(シード・プランニング資料)

(2) 国内市場のシェアトップ(2014年・台数)：ビデオ会議については、シスコシステムズ。Web会議については、ブイキューブ。MCUについては、ポリコム。

(3) ビデオ会議メーカー別シェア(2014年・推定)：台数・金額ともに、1位がシスコシステムズ、2位がポリコムとなっている。



(シード・プランニング作成)

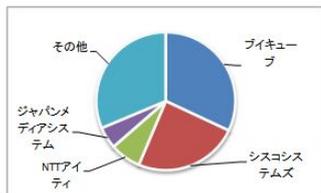
(シード・プランニング資料)

(4) Web会議メーカー別シェア(2014年・推定、計113億円)：SIタイプ(約35億円)については、1位がブイキューブ、2位がジャパンメディアシステム、3位が沖電気工業。一方、ASPタイプ(約78億円)については、1位がブイキューブ、2位がシスコシステムズ、3位がNTTアイティ。

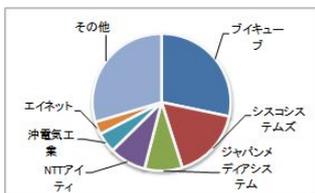
なお、ASPタイプでは上位2社で5割以上のシェアを占める結果となった。また、SIタイプとASPタイプの

合計では、ブイキューブが引き続き首位で、シスコシステムズ、ジャパンメディアシステムと続く形となった。

2014年のメーカーシェア：ASP、金額



2014年のメーカーシェア：SI+ASP、金額



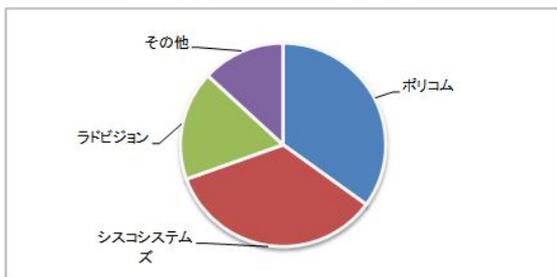
(シード・プランニング作成)

(シード・プランニング資料)

(5) MCUメーカーシェア(2014年・推定)：台数ベースで640台、金額ベースで42億円の市場と推定される。

(6) 今後の展望：広義のビデオコミュニケーション市場は、2020年には既存市場の約3倍の2,070億円程度に膨らむと予測している。広義のビデオコミュニケーションとは、従来のビデオ会議/Web会議/音声会議に加え、タブレットやスマートフォンなどのアプリとして提供されているシステムを含めたものを指す。

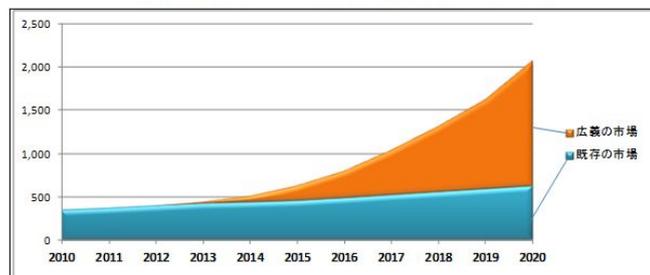
2014年のメーカーシェア：MCU、金額



(シード・プランニング作成)

(シード・プランニング資料)

今後のビデオコミュニケーション市場規模の予測イメージ (単位：億円)



(シード・プランニング作成)

(シード・プランニング資料)

本調査結果の詳細は、調査研究レポート「2015 ビデオ会議/Web会議/音声会議/UC関連製品の最新市場動向～ビデオコミュニケーション(VC)とユニファイドコミュニケーション(UC)の行方～」として同社から販売されている。取材企業は27社、調査レポートに掲載した企業は50社。調査期間は2014年11月から2015年3月。

PR

>株式会社日立ハイテクノロジーズ

<http://cnar.jp/Hitachi-HighTech3.htm>

セミナー・展示会情報

<国内>

■Polycom Day 2015 第1回『働き方は一通り？ スマートオフィスとさまざまなコラボレーションの実現をめざして』

日時：4月16日(木)・17日 14:00～ (開場：13:30)

会場：日本スチールケースショールーム (東京都港区)

主催：ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込：<http://www.polycom.co.jp/company/events.html>

※Polycom Day 2015 年間スケジュールも発表されています。

■PCでもiPadでも！快適な音声品質を実現する

Web会議システム「IC³」導入・活用セミナー[東京会場]

日時：4月16日(木) 15:30～17:30 (受付：15:00)

会場：キヤノンソフトウェア本社 (東京都品川区)

主催：キヤノンソフトウェア株式会社

詳細・申込：<http://www.canon-soft.co.jp/seminar/rd.html?278>

■Lifesize Cloud 体験セミナー

日時：4月21日(火)、22日(水)、23日(木)、24日(金)

※各日 10:00～と 14:00～開催

(ただし 22日は 10:00～のみ)

開場：VTV ジャパン 東京本社・大阪オフィス

主催：VTV ジャパン株式会社

詳細・申込：http://www.ls-uvc.jp/topics/sem_201504.html

■PC でも iPad でも！快適な音声品質を実現する

Web 会議システム「IC³」導入・活用セミナー[大阪会場]

日時：4月22日(水) 15:30～17:30 (受付：15:00)

会場：キヤノンソフトウェア 大阪堺筋事業所 (大阪市中央区)

主催：キヤノンソフトウェア株式会社

詳細・申込：<http://www.canon-soft.co.jp/seminar/rd.html?279>

■BIG PAD を活用したクラウド型 Web 会議サービス

「TeleOffice」体感セミナー

日時：4月22日(水) 14:00～16:00

※2015年9月までの日程あり。

会場：シャープ株式会社 東京支社

主催：シャープビジネスソリューション株式会社

詳細・申込：

<http://www.sharp-sbs.co.jp/event/regular/teleoffice-a.html>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

Web の方の情報もご参照ください。

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2015年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

情報発信について

CNA レポート・ジャパン (橋本啓介) では、国内外における遠隔会議システム (テレビ会議・Web 会議・電話会議・ユニファイドコミュニケーションなど) に特化した情報配信を行っています。

その情報配信のためのリサーチにおいては、企業やセミナー・展示会の取材などのほか、「製品・サービス」「ビジネス」「ユーザ導入・利用」「決算発表」「人事発表」「市場統計データ」「セミナー・展示会」といった観点から、インターネットに公開されている、各社のプレスリリースやお知らせ、ニュースメディアサイト、ポータルサイト、ブログ、掲示板、youtube、メルマガ、Linkedin、Twitter、Facebook、google+などに掲載されている遠隔会議関連の情報を日々収集しております。

収集された情報の中で、市場トレンドを見ていく上で参考になると思われる情報をピックアップして配信しています。皆様ご自身の情報収集と合わせてご利用いただければと存じます。

定期レポート (15日・月末発行)：各社からのプレスリリース、CNA レポート・ジャパンの取材による記事のみ。

Dtc-forum メーリングリスト、フェイスブック & Twitter (それぞれほぼ毎日配信)：定期レポートであつまっている各社からのプレスリリースや取材を含む、遠隔会議システムに関する情報全般。

詳細は、<http://cnar.jp> 「情報発信について」をご覧ください。

CNAレポート・ジャパン2015年4月15日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp